



関原だより

令和7年度5月号
足立区立関原小学校

聞き上手

校長 吉丸 清昭

入学・進級から1ヶ月が過ぎました。子ども達は新しい学年・学級での学校生活の中で『1秒の言葉』を大切にして充実感のある学校生活を送っています。規律ある連帯感の中で、『3つの無言』を守りつつ、楽しくかつ安全安心な学校をめざし本校は今月も邁進してまいります。

さて、子どもは年齢が低ければ低いほど相手の事情を考えずに話し掛けてくるものです。大人のように相手の行動を察して、今は話し掛けるべきタイミングではないなどとは考えられません。自分の都合でおかまいなしに話し掛けてくるのが子どもです。

そんな時、教師や親である私達大人は、面倒くさがらずにどれだけ子どもの話を聞いてあげることができるでしょうか。忙しい時や疲れている時などは、誰もが自分のやっていることが精一杯で人の話を聞くゆとりがなくなります。そして、「忙しいのだから～」とか「はっきりして」等とついつい怒った調子になってしまいがちです。そのイライラ感情を子どもの前でいかにして出さないか、ここが大人にとっての精神修養の場となります。

話を聞いてほしい子どもは、話したいことや気持ちを分かってほしいのですから、大人がプリプリした様子だと嫌になってしまい、話すどころか心を閉ざしてしまいます。ある調査では、平日に保護者と15分以上話をした子どもは、小学生高学年で9%、中学3年生で5%だそうです。大人も子どもも忙しいという理由でこんなにも話さなくなるものなのでしょうか。

相手の考えが例え自分の考えと違っていても、なぜ相手がそう考えるのかを尋ねながら聞くことが苦手な人が増えています。相手の心を受け止めながら対話をし、心と心を通い合わせていく話し方や聞き方ができないのです。一般社会でも頭から（最初から？）相手を否定し、相手を小馬鹿にして持論を押し付ける人がいます。相手の言い分や考えを聞いて分かり合おうとする会話法が身に付いていないのです。

話し合いを両者の意見が一致することだと考えると無理が生じます。両者にどれほどの違いがあるのかを知ることが話し合いなのです。仕事や生活を共にする中で、その違いや問題に対応したり共感したりすることが大切です。お互いの思いや考えが違う点へいかに歩み寄れるのが会話なのだと理解することが大切です。

挨拶ばかり、仕草ばかり、大人が変わらなければ子どもも変わらないのは古来より言われる所以です。頭で話し合わず心で会話をするように心掛けてみてはどうでしょうか。学校から元気のない顔で帰ってきた子どもに、「どうしたの、そんな顔して」と頭で聞くと、「ほっといて」という気持ちになります。「いやなことがあったのね」と心で接すれば、子どもは自分の気持ちを分かってくれたように感じ自ら話し出すものです。

5月の行事予定

日	曜	行事	補習	桐っ子	日	曜	行事	補習	桐っ子
1	木	尿検査一次 内科検診（3・4年） 消防写生会（2年・青桐）			17	土			
2	金	児童集会 交通安全の日 尿検査一次追加	○	○	18	日			
3	土	憲法記念日（祝日）			19	月	全校朝礼 尿検査二次 避難訓練（集団下校）		○
4	日	みどりの日（祝日）			20	火	運動会練習		○
5	月	こどもの日（祝日）			21	水	B時程4時間授業 尿検査二次追加		
6	火	振替休日			22	木	運動会全校リハーサル		
7	水	全校朝礼 4時間授業			23	金	1～5年・青桐4時間授業 運動会前日準備（6年）		
8	木	安全指導・点検 内科健診（1・2年）	○	○	24	土	運動会 給食なし（弁当）		
9	金	心臓健診（1年） 児童集会			25	日	運動会予備日		
10	土				26	月	振替休業日		
11	日				27	火	全校朝礼 クラブ お誕生日給食（5月生）		○
12	月	全校朝礼 委員会		○	28	水	93周年開校記念日		
13	火	4時間授業			29	木	聴力検査（5年）	○	○
14	水	あだちからの日 4時間授業			30	金	聴力検査（3年） たてわり班顔合わせ		○
15	木			○	31	土	足立の花火		
16	金	児童集会							